

5 本時の学習指導（じっくりコース）

(1) 目標

箱を途中まで切り開いて後の展開をイメージすることで直方体の予想展開図をかき、話し合いを通して確かめ合うことができる。

(2) 学習指導過程

学 習 活 動	期 待 す る 児 童 の 反 応	教 師 の 支 援 活 動
1 直方体の箱を見て、本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>今日は、展開図をかいて箱を組み立てます。</li> <li>実際に辺を切り開いていくと展開図が分かりそうだ。</li> </ul>	<p>発 この直方体と同じ形の箱を展開図をかいて作りましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>箱の辺を切り開いて展開図を調べ、組み立てていく学習であることを確認する。</li> </ul>
直方体の箱を途中まで切り開いて展開図を予想しよう		
<p>2 箱の辺を切り開きながら展開図を予想する。</p> <p>(1) 辺を1辺ずつ切り開く。</p> <p>(2) 展開図を予想してかく。</p> <p>(3) 開き方を説明する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セロテープは1枚ずつそっとはがそう。</li> <li>全部はがしたらだめなんだ。分かったところではがすのはやめよう。</li> <li>何枚はがしたら分かるかな。</li> <li>この後ここをはがせばこう広がって……。後何枚はがせばいいだろう。</li> <li>展開図ができそうだ。かいてみよう。</li> <li>ここをはがすとこの面がこう広がり、展開図のこの面になります。</li> <li>さんの展開図は、さんとよく似ています。それは……</li> <li>どの展開図も、開いた辺の数と後何本開くかを合わすと7本です</li> </ul>	<p>発 途中まで辺を切り開いていき展開図を予想してかきましよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6面をセロテープで留めた箱を児童に渡し、開き方を具体的に確かめさせる。</li> <li>ゆっくりとはがすことで意識を集中させ、じっくりと考える時間をとる。</li> <li>はがしたテープを手元に置き、何カ所切り開いたかが分かるようにしておく。</li> <li>身振りをつけながら考えさせ念頭での思考を大切にする。</li> <li>辺の長さや曲がりを気にしなくてよいことを知らせ、フリーハンドで概形をかかせる。</li> </ul> <p>助 一緒に手を動かしてみるとよく分かるよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>箱と展開図をつなぎながら、面が開いていく順番に説明をさせる。</li> <li>一緒に身振りをつけることで、展開のイメージを鮮明にし、友だちの考えをたどらせる。</li> </ul>
3 工作用紙に展開図を書き、箱を組み立てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>組み立てたらうまく箱ができるかなあ。</li> <li>この辺の長さはおかしい。組み立てるときちゃんと合わないよ。</li> </ul>	<p>発 自分の考えた展開図を工作用紙にかいて、箱を組み立てましよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>切る前に本当にできるかどうかを友だちと確かめさせる。</li> </ul>
4 本時の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>途中まで同じ開き方でも、後の展開にはいろいろありました。</li> <li>身振りをつけるとイメージしやすかったです。</li> <li>立方体でもできるか調べてみたいですよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学んだことや学び方について振り返らせる。</li> </ul>

- (3) 評価
- 途中まで開いた直方体の箱から、展開図を予想することができたか。
  - 自分の考えた予想展開図を、身振り手振りを入れながら分かりやすく説明することができたか。